

株式会社マキ電資

～精度の高い技術でEMSに新風を吹き込む 県北の雄～

熊谷市に本社を置く株式会社マキ電資は、2002（平成14）年に、東芝ケミカル（現・京セラケミカル）の代理店が社名を変更して生まれた会社である。当時から同社の社長を務めていた藤巻克比古氏が親会社の倒産を契機に子会社を組織変更して独立。「マキ電資」となった。

なぜ社名が、「電子」ではなく「電資」なのかについては、「電子」だと、どうしても「半導体を扱う会社」というイメージが強くなるからだ。もっと幅広く資材を扱っていく会社を目指そうと、「マキ電資」という名前に落ち着いた。

社名変更当時、取引先業種の割合は、医療機器、バイオ、防災などが大半で、8割から9割を占めていた。しかし、将来を考えると、さまざまな業種と平均的に取引したほうが得策と考え、「多品種、小ロット、そして次の時代を担うにふさわしい業種の製品」をあえて選び、「他社がやらないことをやる」ために業容を拡大し、新規顧客を獲得していった。

同社の事業内容を業務シェア別にみると、基板組立加工が57%と多く、その後に電子部品販売13%、海外貿易10%、成形品10%、その他10%と続いている。

事業の柱は、半導体基板の部品調達からア



熊谷市内にあるマキ電資本社

フターサービスまでを一貫して請け負うEMS（電子機器の受託生産）ビジネスだ。

半導体制御装置は、冷蔵庫から、エアコン、自動車など、何にでも入っているとんでも過言ではない。その制御装置に入る半導体基板を得意先の注文に応じて納めている。注文にもいろいろあり、回路設計のみの場合もあれば、部品調達、組み立てまでを行い納めることもある。業容拡大当時、同業他社が組み立てはしても、部品調達までは手を出していなかったことに着目して始めたのだが、これが当たった。売上高は、2002年以降、概ね右肩上がりで推移している。

また「不況に強い会社」づくりも、同社の経営方針の一つだ。堅調な業績を支えるために、さまざまな方策を講じている。

たとえば、製品価格を安く抑えるために、部品を大量に調達しなければならなくなったときも、余った電子部品を自社で販売し、電子部品販売部門を経営のひとつの柱にまで成長させた。

現在の主要取引先業種は、医療機器、防災機器メーカー、食品、バイオ研究機関、電力、健康機器メーカーなど多岐にわたっている。

しかも、組み込まれる製品の技術水準が高



マキ電資の品質管理体制を支える、製品の計測装置の画面。細かい部品も（左下）、高い精度で瞬時に測定する。

い。ハイテック繊維メーカーの最新編機や、公共インフラの防錆機器、病院の入院患者のための服薬管理機器から食品自動調理ロボットまで、ハイテクノロジーを代表する製品の中にマキ電資の半導体基板が入っている。

平成16年には、熊谷市妻沼にあるプラスチック成型工場を買収して、得意先経由でフィギュアの関節づくりを始めた。

たかが関節と思うなかれ、フィギュアの関節づくりには、微妙で精度の高い技術が必要とされる。フィギュア本体の組立工場がある中国の現地下請け工場では、当時、一定水準のものができなかったため、マキ電資が請け負うことになったという経緯がある。金型の寸法精度、管理、調整のノウハウがなければ、「固すぎず緩すぎず、かつ信頼性もある」フィギュアの関節づくりは難しいのである。

フィギュア1体につき関節は9個以上必要とされるため、多いときには、月に200万個以上の注文が押し寄せた。

環境への取組みにも力を入れている。たとえば、RoHS^(*)への対応である。RoHSとは、EU圏内へ輸出される電子機器製品への有害物質の含有を禁じている規制である。

マキ電資では、最新のエックス線測定機器を導入して、指定有害物質の含有量をその場で弾き出し、万に一つも有害物質が規定値以上紛れ込まない体制を敷いている。

工場全体の管理も万全だ。マキ電資の工場は、6層にわたる特殊なつくりの床を整え、半導体にとって大敵である静電気を発生させないように細心の注意を払っている。



フィギュアの関節製造には、100種類以上もある色の管理が重要。



累計1万4,000台以上をOEM生産・出荷し、現在までクレームゼロを誇るIH調理器。

会社がこの先を見据えて掲げたテーマは、「もう一歩前へ」だ。いまお付き合いしてくれている顧客には、もうひとつ先の段階まで任せてもらえるように、全社をあげて努力している。

夢は、いつの日か、同社の名前が入った製品を世に送り出すことだ。現在、中国の現地工場とコラボしてIH調理器をOEMで製造している。従来の部品調達管理だけでなく、工場のレイアウトから、検品、出荷までを任されるまでになった。

その夢の実現を前にしても藤巻氏は、自身のモットーであり会社方針のでもある「“初心”貫徹」を忘れずにいる。

スタートしたころの苦労を忘れないように、助けてくれた人たちへの感謝の気持ちを忘れないように、と社員に語り聞かせている。

*RoHS=ローズ (ローズDirective on the Restriction of the use of certain Hazardous Substances in electrical equipment)。ローズ指令ともいう。EUがカドミニウム、鉛など6種類の物質を域内への輸出禁止物質と指定。罰則は各国により異なるが、多額の罰金が科されることがある。



藤巻 克比古 社長

企業概要 株式会社マキ電資

代表者	藤巻 克比古
設立	1964年
資本金	3,000万円
従業員	49人
事業内容	EMSビジネス、電子回路設計、プリント基板CAD設計、基板組み立て
本社	埼玉県熊谷市上之2998-1
電話番号	048-524-0088
取引店	熊谷東支店